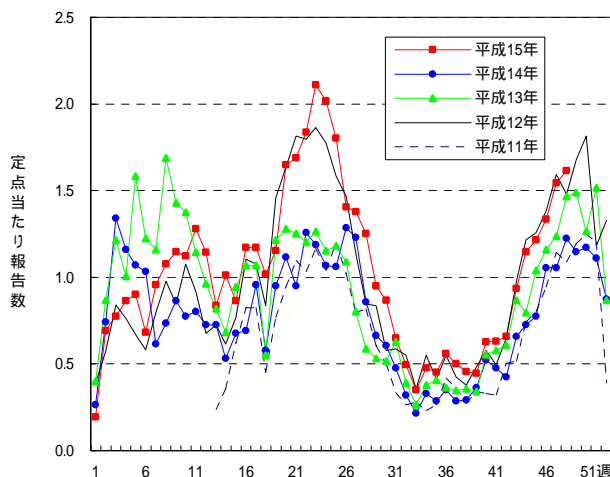
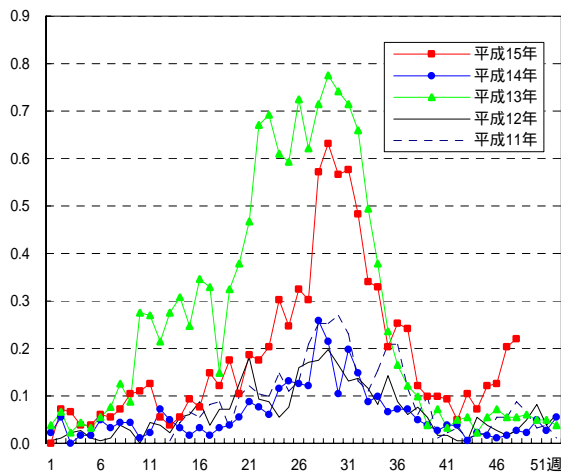


流行状況

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



咽頭結膜熱

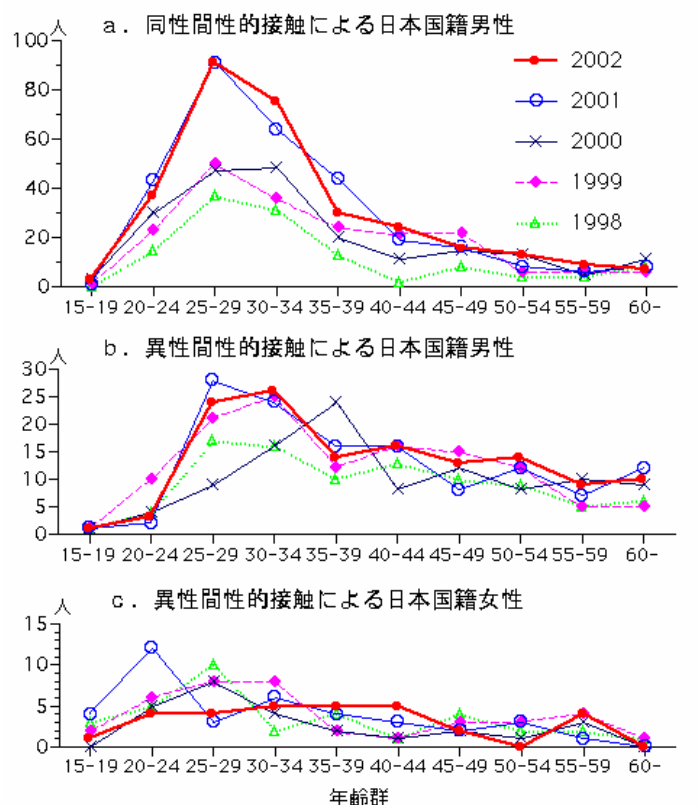


疾患名	前週	今週	備考
<u>感染性胃腸炎</u>	7.3 ▲	7.6 ▲	細菌あるいはウイルスなどの感染性病原体による嘔吐、下痢症
<u>水痘</u>	1.8 ▲	2.1 ▲	「みずぼうそう」とも呼ばれ、ウイルスが原因で発生する人から人にうつる感染症
<u>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</u>	1.5 ▲	1.6 ▲	レンサ球菌のうち血清型分類のA群に分類されるものによる上気道感染症
<u>咽頭結膜熱</u>	0.20 ▲	0.22 ▲	発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症
<u>マイコプラズマ肺炎</u>	0.62 ▲	0.54 ▼	マイコプラズマとよばれる病原体による空咳と胸痛が特徴的な肺炎 3 定点からコメントでの患者発生報告あり

定点当たり報告数	定点当たり報告数	定点当たり報告数
▼ 減少	→ 横ばい	▲ 増加

感染症についての説明及びグラフ総覧については、
愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

図4. 日本国籍HIV感染者の感染経路別年齢分布, 1998~2002年



(厚生労働省エイズ動向委員会：平成14年エイズ発生動向年報)



次に、図4(同上)に示すとおり年齢群別のHIV感染者のピークは20~30歳代の若い世代が中心です。特に日本国籍男性にその傾向が強いことから、男性から女性に感染させる可能性も高いため、将来若年層を中心にHIV感染が急増する可能性が危惧されています。さらに、エイズは発症するまでの期間(無症候期)が数年~10年程度と長いため、検査を受けていないHIV感染者数を考慮すると、実際の感染者はもっと多いことが予想されます。

このように、我が国のHIV感染者及びエイズ患者は増加しており、特に同性間性的接触による日本国籍の男性と20~30歳代を中心とした若年層の増加が懸念されています。さらに、厚生労働省の研究班「HIV感染症の動向と予防介入に関する社会学的研究(主任研究者・木原正博)」の「HIV感染者数とAIDS患者数の近

未来予測(グループ長・橋本修二)」によれば、日本人のHIV感染者は今後急激に増加し、2006年末までに未発症者が2万2千人、AIDS患者累積数が5千人と、現在の約3.2倍にも増加することが予測されています。

感染経路

厚生労働省エイズ動向委員会公表の平成14年度エイズ発生動向 概要 によれば、HIV感染報告例の感染経路は、同性間の性的接触が329件(53.6%)、異性間の性的接触が203件(33.1%)で、性的接触によるものが合わせて532件(86.7%)を占めています。なお、静脈注射や薬物濫用や母子感染によるものはHIV感染者、AIDS患者ともいずれも1%以下にとどまっています。

次回(12月中の週報)は、HIV感染症の臨床症状・経過、治療法及び予防法等についてお知らせする予定です。

(関連ホームページ URL)

国連エイズ合同計画(UNAIDS)

<http://www.unaids.org/EN/default.asp>

アイチエイズインフォメーション

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/aids/index.html>

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌 O1 3 歳男、4 歳男 2 名、10 歳女、30 歳女

病原性大腸菌 O18 2 歳男

病原性大腸菌 O25 2 歳女、5 歳女

病原性大腸菌 O86a 2 歳女、40 歳女

ロタウイルス 子供 14 名、大人 2 名

パラインフルエンザ 1 歳女、2 歳女、3 歳女

ロタウイルス感染症が非常に多く見受けられ、その他のノロウイルス等の患者さんも多く存在していると考えております。

【尾西市 城後小児科】

5 歳男 水痘、ムンプス同時罹患（妹も同じ）

水痘流行

感染性腸炎多いです。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

インフルエンザテスト エスプライン A 型陽性 2 名 高校の同クラス

【一宮市 医療法人かすが内科】

RSウイルス 1 ヶ月男

アデノウイルスによる扁桃炎が散発しています。

【稲沢市 稲沢市民病院】

アデノウイルス感染症 11 歳男、4 歳男

【一宮市 平谷小児科】

溶連菌が流行しています。

【犬山市 武内医院】

溶連菌感染症が増加しています。

感染性胃腸炎も相変わらず多くみられています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

溶連菌感染症が多く目立ちます。

ウイルス性胃腸炎も多いようです。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

92 歳女 病原大腸菌 VT (-)

【師勝町 師勝クリニック】

32 歳女 カンピロバクター

3 歳女 水痘（ワクチン接種済み）

1 歳女、30 歳女 マイコプラズマ感染症（母子）

嘔吐下痢を伴った胃腸風邪が流行しているようです。（ロタウイルスマイナス）

【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

感染性胃腸炎が多く、病原大腸菌 O25 4 歳女、O26a 5 歳男

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

今週は水痘が増加傾向です。

嘔吐を主訴に受診する症例目立ちました。

マイコプラズマ肺炎、アデノウイルス感染症今週も多くみられました。

【尾張旭市 医療法人誠和会 佐伯小児科医院】

2歳女 サルモネラ腸炎、3歳女 ロタ腸炎、0歳もロタ

高熱、嘔吐で発症する胃腸炎が増加傾向です。

【尾張旭市 旭労災病院】

9歳 伝染性単核症1例

胃腸かぜ多数

アデノウイルス感染症多数

溶連菌感染症少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

今週は溶連菌感染症がありました。

【春日井市 かちがわ北病院】

63歳女 マイコプラズマ

【春日井市 稲垣内科】

アデノ 2例

感染性胃腸炎が増加してきた。

アデノ咽頭炎は相変わらず存在。

【小牧市 小牧市民病院】

感染性胃腸炎が多く、白色便を呈する症例も見られます。

【小牧市 志水こどもクリニック】

急に嘔吐下痢症が増えました。

【東海市 小児科ハヤカワ医院】

単純ヘルペス 1歳女、3歳女

アデノウイルス胃腸炎 1歳女

【東海市 東海市民病院】

胃腸炎それほど増加はありませんが小流行中です。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

1歳男、4歳男、4歳女、6歳女2名 溶連菌感染症 StrepA(+)

3歳男 イムノカードアデノウイルス(+)

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

8歳女 異型肺炎

2歳男 サルモネラO11群

2歳男、4歳男 カンピロバクター

1歳女 病原性大腸菌O1

【岡崎市 花田こどもクリニック】

1歳男2名 病原性大腸菌O1 VT(-)

2歳男 カンピロバクター、病原性大腸菌O1 VT(-)

11ヵ月女 病原性大腸菌O86a VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

6歳女 マイコプラズマ肺炎

1歳女 アデノウイルス 滲出性扁桃炎

9歳男 病原大腸菌O86

4歳男、10歳男 病原大腸菌O1

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

水痘、感染性胃腸炎増加

【碧南市 永井小児クリニック】

アデノチェック陽性 4人
高熱、頭痛の患児が目立ちます。

【知立市 宮谷クリニック】

嘔吐が急増

【西尾市 やすい小児科】

1歳男 病原性大腸菌O18 VT(-)

3歳男 病原性大腸菌O15 VT(-)

7歳女 病原性大腸菌O1、O25 VT(-)

9歳男 病原性大腸菌O125 VT(-)

5歳女、7歳女 カンピロバクター

1歳女 アデノウイルス胃腸炎

3歳男 帯状疱疹

嘔吐下痢症多い(嘔吐は7~8時間で止まりその後三分の一位が発熱・
下痢する傾向あり。

【幸田町 とみた小児科】

感染性胃腸炎の患者が目立ちます。

【三好町 三好町民病院】

東三河地区

6歳女 マイコプラズマ肺炎

【豊橋市 野村小児科】

小学校低学年~(保育園)年長以上の嘔吐症多発

【蒲郡市 蒲郡市民病院】

一 ~ 三類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

腸管出血性大腸菌感染症

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	豊田市	22	女		11 / 25	11 / 29	0157 VT2(+)	
2	衣浦東部	14	男	11 / 18	11 / 21	11 / 23	0157 VT1(+) VT2(+)	

四類・五類（全数把握）感染症の発生状況

- 愛知県（名古屋市を除く。） -

つつが虫病 1 例

マラリア 1 例（三日熱 推定感染地域：インド） 47 週報の再掲

後天性免疫不全症候群 1 例（無症候性）

梅毒 1 例（早期顕症 期）

第 46 週(15 年 11 月 10 日～11 月 16 日)の 4 類感染症（全国）

小児科定点報告疾患

インフルエンザの定点当たり報告数は未だ明らかな増加が認められていない（「注目すべき感染症」参照）。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第 29 週をピークとし、その後は週により緩急はあるものの減少し続けていたが、第 43 週から 2 週続けて増加し、その後第 45 週は減少したが、第 46 週は再び増加した。過去 10 年間の当該週と比較して第 16 週から最高の値であり、第 46 週までの累積定点当たり報告数の過去 10 年間の平均と比較して 2.8 倍を示す大きな流行となっている。都道府県別では、鳥取県（1.4）、山形県（0.7）、愛媛県（0.7）が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第 34 週から増加傾向が認められており、第 46 週も増加した。都道府県別では鳥取県（4.3）、山形県（3.3）が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第 39 週から緩やかな増加が始まり、第 43 週からは明らかな増加傾向が認められており、第 46 週も増加した。都道府県別では宮崎県（18.9）、福井県（18.7）、石川県（13.8）が多い。水痘の定点当たり報告数は第 41 週から増加傾向が認められており、第 46 週も増加した。過去 10 年間の当該週と比較して第 43 週から最高の値となっている。都道府県別では新潟県（4.0）、山形県（3.3）が多い（「注目すべき感染症」参照）。RS ウイルス感染症の報告数は、21 都道府県（0 例の報告も含む）から合計 36 例であった。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は大きく減少して 0.24 で、都道府県別では静岡県（0.9）、大阪府（0.9）が多い。

注目すべき感染症

インフルエンザ

インフルエンザの定点当たり報告数は第 46 週は 0.01 であり、まだ本格的な流行が始まっているわけではない。しかしながら、第 46 週には 21 都道府県から全国合計で 57 例の報告があった。これまでにインフルエンザウイルスは A 香港型（H3N2）が長崎県、大阪府、山形県、B 型が沖縄県、愛知県*で確認されている。

* 愛知県感染症情報第 46 週報

（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/kansen.html>）

病原微生物検出情報（IASR） 速報記事（ウイルス）

フィリピンへの渡航者から分離された B 型インフルエンザウイルス - 愛知県

（<http://idsc.nih.gov/rapid/index-kv.html>）参照

インフルエンザ様疾患に伴う学級閉鎖の報告では、第45週では岐阜県での学校閉鎖(11月4日初発)、第46週では北海道での学年閉鎖(10月17日初発)それぞれ1件ずつ報告があったが、今のところインフルエンザウイルスは確認されていない。

「インフルエンザのQ&A」「国内患者発生動向調査」「ウイルス分離状況」「抗体保有状況」などインフルエンザの総合的な情報については、以下のURLを参照されたい。

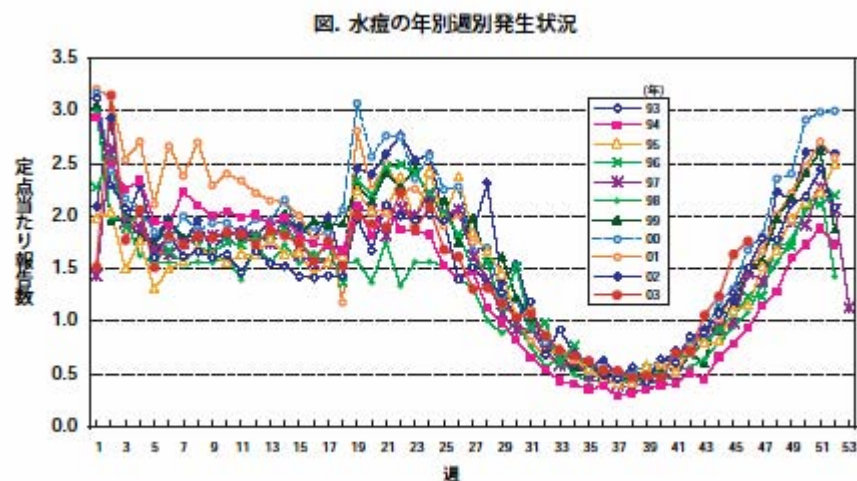
<http://idsc.nih.go.jp/others/topics/newpage2.html>

水痘

水痘帯状疱疹ウイルスによって起こる感染症で、潜伏期は2週間程度(10~21日)である。発疹は全身性で掻痒を伴い、紅斑、丘疹を経て短時間で水疱となり、痂皮化する。数日にわたり新しい発疹が次々と出現するので、急性期には紅斑、丘疹、水疱、痂皮のそれぞれの段階の発疹が混在することが特徴である。臨床経過は一般的に軽症で、倦怠感、掻痒感、38 前後の発熱が2~3日間続く程度であることが大半である。しかし、成人ではより重症になり、合併症の頻度も高い。通常呼吸器症状や胃腸症状を伴うことはない。合併症の危険性は年齢により異なり、健康な小児ではあまりみられないが、15歳以上と1歳以下では高くなる。

治療としては通常、石炭酸亜鉛華リニメント(カチリ)などの外用が行われる。抗ウイルス剤のアシクロビル(ACV)は、重症水痘、および水痘の重症化が容易に予測される免疫不全者などでは第一選択薬剤となる。健常者の水痘についても、ACVの経口投与は症状を軽症化させるのに有効であると考えられているが、全ての水痘患者に対して投与する必要はないと思われる。インフルエンザと同様に、水痘感染時にはアスピリンの内服によるライ症候群の危険性があるので、注意を要する。例年、冬季にかけて報告数は増加するが、本年第46週では例年に比べて報告数が多くなっている。

年齢別では1~4歳での報告が多い。



(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センタ - 感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センタ - のホ - ムペ - ジ

(<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報
をご覧ください。

愛知県感染症情報

2003年第48週(平成15年11月24日～11月30日)

愛知県衛生研究所

		定点数																										
		インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹	RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性を除く。)	インフルエンザ(高病原性を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(オウム病は除く。)	成人麻しん
愛知県(名古屋市を含む)		191	182	35	51	13	7	10	40	294	1,392	389	26	70	124	1	0	15	1	125	0	35	0	0	7	0	0	
総数(名古屋市は除く)		121	112	24	37	12	7	10	33	218	1,022	290	22	45	99	1	0	9	1	109	0	30	0	0	7	0	0	
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1			7	76	370	99	4	25	25			6		16		5						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	3		3	28	44	20	1	4	3			1		4								
海部津島	津島	7	7	2	2	1				11	118	3		1	4					5								
尾張中部	師勝	4	4	1	1					2	45	5	1		4													
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	1	5	3	18	97	43	1		13			1		3		3						
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1		2	17	20	72	22			6	12			4		18		3					
	江南	6	6	1	2				1	26	91	11			4	6			1		8		1					
知多半島	半田	6	6	1	2	1				15	30	11	6	6	7													
	知多	7	7	2	2				1	12	90	11	2	3	6						17							
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1		1		11	12	34			7	8				5								
	衣浦東部	11	11	2	4	1		1	5	19	46	31	3	3	13						30		2					
	西尾	5	5	1	2	1				4	36	12			2	2					11							
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	3	1	1	26	67	31	8	5	5	1					5		15					
	加茂	3	3		1					2	28	2			2						1							
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1				16	132	25			6						1		5			2		
	豊川	9	8	1	2	1			2	8	114	24			4	8			2	1			1			5		
東三河北部	新城	2	2			1						5									1							

(注)感染症法の一部改正によりRSウイルス感染症が追加、急性脳炎は五類全数把握対象疾患に変更されました。

愛知県感染症情報

2003年第1週～第48週(平成14年12月30日～平成15年11月30日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	(成人麻しんを除く。)	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎*	(オウム病は除く。)	クラミジア肺炎	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																							
愛知県(名古屋市を含む)	191	182	35	51	13	19	47,912	1,612	8,936	34,345	13,624	11,025	1,975	6,410	78	65	6,571	178	5,529	34	1,440	8	17	233	0	5		
総数(名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	19	38,605	1,223	6,373	23,699	10,850	9,393	1,555	5,151	65	43	4,775	143	4,441	29	1,062	8	16	229	0	5		
名古屋市	70	70	11	14	1		9,307	389	2,563	10,646	2,774	1,632	420	1,259	13	22	1,796	35	1,088	5	378		1	4				
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	6	2,755	84	987	1,432	500	201	55	284	7	2	499	13	469	2	43						
海部津島	津島	7	7	2	2	1		1,341	47	114	2,002	555	901	85	252	2		238	2	213	2	33		2	21			
尾張中部	勝	4	4	1	1			1,378	14	156	1,331	195	187	23	118		5	393	1	170	1	20						
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	5	2,719	50	463	2,893	984	846	144	575	7	1	356	5	269	1	156		1	1			
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1		4,293	201	512	1,553	800	804	223	439	3	4	476	7	458	1	82	2	4	6	1		
	江南	6	6	1	2			1,522	73	421	2,290	630	768	118	376	3	1	213	1	165		50						
知多半島	半田	6	6	1	2	1		1,915	19	250	869	294	188	82	286	1	1	160	2	229		18	1	16		3		
	知多	7	7	2	2			2,366	118	524	1,533	663	448	100	377	1	1	345	28	217	2	33						
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1		4,163	35	420	307	1,064	608	192	612	12		370	1	642	3	96						
	衣浦東部	11	11	2	4	1		5,879	95	536	1,357	1,304	945	130	496	6	1	383	16	815	1	112		2	19			
	西尾	5	5	1	2	1		1,190	17	257	812	493	329	113	212	1	2	146	10	202		60		4	9	1		
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	8	2,416	96	389	1,659	988	539	89	350	18	20	378	15	347	7	179		2	44			
	加茂	3	3		1			489	16	231	535	169	166	13	62	1	3	83		50								
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1		3,088	236	689	3,054	942	1,187	96	400	1		375	25	53	7	113	5		55			
	豊川	9	8	1	2	1		2,839	122	422	2,072	1,200	1,226	92	289	2	2	358	14	115	2	67		1	58			
東三河北部	新城	2	2			1		252		2		69	50		23			2	3	27								

* 衣浦東部保健所から40週2件、41週1件、46週1件の追加報告あり

愛知県感染症情報

2003年第1週～第48週(平成14年12月30日～平成15年11月30日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎*	クラミジア肺炎 (オウム病は除く。)	成人麻しん
計	19	38,605	1,223	6,373	23,699	10,850	9,393	1,555	5,151	65	43	4,775	143	4,441	29	1,062	8	16	229	0	5
～6ヶ月	12	518	7	15	282	283	74	9	428	11		72	2	2		6					
～12ヶ月	4	1,097	45	27	1,472	655	458	52	3,120	17	2	450	29	27		15					
0歳																	4	1	3		
1歳		3,228	186	150	3,465	1,966	1,708	90	1,480	14	5	1,186	34	214		29			19		
2歳	2	3,245	185	336	2,666	1,860	1,649	135	96	3	2	914	10	349	1	31			17		
3歳		3,322	194	741	2,668	2,015	1,786	174	12	4	1	835	7	693	2	37			23		
4歳	1	3,517	192	1,216	2,407	1,881	1,562	241	2	4	3	570	8	894	1	36			20		
5歳		2,266	151	1,253	1,908	1,140	1,034	251	2	2	6	388	6	864	1	39					
6歳		1,826	87	924	1,394	470	484	221	4		1	152	8	520		15					
7歳		1,467	54	564	1,050	195	216	120	1	2	4	73	5	297		13					
8歳		1,304	42	351	817	130	139	107	4	2	3	32	4	195	1	14					
9歳		1,336	23	206	653	73	68	48			1	36	2	108		8					
5歳～9歳																		3	55		
10歳～14歳		4,860	24	297	1,545	114	98	74	2	2	3	29	17	175	1	38			30		
15歳～19歳		1,581	3	25	474	12	9	1				8	3	15		33		2	7		
20歳～			30	268	2,898	56	108	32		4	12	30	8	88			4				
20歳～29歳		2,771													10	177		3	17		2
30歳～39歳		3,055													2	234		5	20		2
40歳～49歳		1,183													3	97		2	5		1
50歳～59歳		892													3	117			5		
60歳～69歳		598													1	66			2		
70歳～															3	57					
70歳～79歳		352																	5		
80歳以上		187																	1		

* 衣浦東部保健所から40週2件、41週1件、46週1件の追加報告あり